

2012 年国際華語特別集会標語

キリストがわたしたちの内に形づくられるようにすることは、
キリストをわたしたちの中で完全に成長させること、
彼にわたしたちの全存在に浸潤していただくこと、
わたしたちの内なる各部分に浸透していただくこと、
キリストがわたしたちとミングリングされるようにすること、
キリストで構成されること、
キリストにわたしたちの内なる存在のすべての部分に
ホームを造っていただくようにすることです。

三一の神が経過したすべてのものを含む神聖な力は、
一度で永遠にわたしたちの中へと設置されており、
そして継続的にわたしたちの中へと伝達されつつあり、
わたしたちにキリストを豊かに享受させ、
彼のからだ（彼の豊満）としての正当な召会生活を持たせます。

わたしたちは、キリストを生活とし、キリストを表現とし、
キリストの思いを思いとし、キリストを生かし出された義とし、
キリストを知る知識を卓越したものと考え、キリストを目標とし、
キリストを美德とし、キリストを力とし、
キリストを秘訣とし、キリストを期待とする必要があります。

コロサイ人への手紙で啓示されているキリストは、
すべてを含む無限に拡張するキリストであり、
神のエコノミーの中心性と普遍性です。
彼は新しい人のために、ご自身をもって、
わたしたちの天然の命と文化のあらゆる要因、要素、面に置き換わるべきです。

国際華語特別集会メッセージアウトライン

2012年1月25日—26日

主題：神聖な啓示の心臓部

メッセージ 1

ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイ——四冊の中心的な書の概論

聖書：ガラテヤ 4:19. エペソ 3:8, 17 前半. ピリピ 1:19-21 前半. コロサイ 1:27

ガラテヤ 4:19 わたしの子供たちよ、キリストがあなたがたの内に形づくられるまで、わたしはあなたがたのために、再び産みの苦しみをしています。

エペソ 3:8 すべての聖徒のうちで最も小さい者よりも小さいわたしに、この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊富を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり。

17 前半 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように……

ピリピ 1:19-21 前半 というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことがわたしにとって救いとなることを知っているからです。20 そこで、わたしの切なる期待と希望は、わたしがどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、今なおキリストが、わたしの体において大きく表現されることです。21 なぜなら、わたしにとって生きることはキリストであり……

コロサイ 1:27 神は彼らに、異邦人の間にあるこの奥義の栄光の豊富がどんなものであるかを、知らせたいと願われました。それはあなたがたの内にいますキリストであり、栄光の望みです。

I. ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイ、この四冊の書簡は一つの組を形成し、新約における神聖な啓示の心臓部を構成します。これらの著作は簡潔ですが、奥深く、深遠で、無尽蔵です：

- A. ガラテヤ人への手紙は、キリストが宗教とその律法と相対することを啓示しています (3:15-29)。エペソ人への手紙は、キリストのからだとしての召会を啓示しています (1:22-23)。ピリピ人への手紙は、キリストを経験し、生かし出すことについてです (1:19-21 前半)。コロサイ人への手紙は、からだのかしらとしてのすべてを含む無限に拡張するキリストを明らかにしています (1:18)。
- B. ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイにおいて、パウロはおおいを取り除いて、キリストがだれであるか、キリストが何であるかをわたしたちに見せています：
 - 1. コロサイ人への手紙で、キリストがすべてを含み、無限に拡張し、宇宙におけるあらゆる積極的な事物の実際であることを見ます—— 1:15. 2:16-17. 3:4, 10-11。
 - 2. ガラテヤ人への手紙は、キリストが宗教と相対することを啓示しています—— 1:15-16。

3. ピリピ人への手紙のメッセージは、「わたしにとって生きることはキリストであり」であって、最高の人性の美德や成就にしたがって生きることでさえありません—— 1:21 前半。
4. エペソ人への手紙は、キリストがわたしたちの中に生きており、わたしたちが彼を生きることの結果が、キリストのからだとしての召会であることを啓示しています—— 1:22-23. 4:16。
5. こうして、この四冊の書は、神の永遠のエコノミーに関する新約の啓示の心臓部であり、キリストと召会が神聖な啓示の中心点であることを見せています—— 5:32。

II. ガラテヤ人への手紙は、キリストが宗教とその律法と相対することを啓示しています—— 2:16, 20 :

A. ガラテヤ人への手紙は、律法に戻ることによってキリストからそれることを強く対処しています—— 5:1-2, 4 :

1. わたしたちがキリストと共にとどまり、彼にわたしたちの中で生きていただき、彼がわたしたちの内に形づくられるようにしてはじめて、神の心の願いは満たされることができません—— 2:20. 4:19。
2. キリストが来た後も律法を保持することは、神の新約エコノミーの基本原則に反します。キリストはわたしたちの生活において律法に置き換わり、神の永遠の定められた御旨を成就しなければなりません—— 21 節. 5:4. 3:23-25。
3. ガラテヤ第 1 章の中心思想は、宗教とキリストの対比です。キリストのビジョンがパウロに分け与えられた時から、彼はキリストを見始め、キリストは彼のすべてとなりました—— 13-16 節。

B. ガラテヤ人への手紙におけるパウロの負担は、キリストが神のエコノミーの中心点であり、またわたしたちの日常の歩みの中心点であるという方法で、キリストを啓示することでした—— 15-16 節. 2:20。

III. エペソ第 3 章、すなわちこの書簡の心臓部において、パウロはキリストの計り知れない豊富について、またキリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造ることについて語っています—— 8, 17 節前半 :

A. 神の選ばれた人は、キリストの計り知れない豊富にあずかり、それを享受するとき、これらの豊富で構成されて召会となります。召会を通して、神の多種多様な知恵は、天上にある天使の支配たちや権威たちに知らされます—— 8, 10 節。

B. パウロが祈ったのは、わたしたちが内なる人の中へと増強されて、その結果キリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造り、こうしてわたしたちの内側の全存在をご自身で占有し、所有し、浸潤し、浸透することができるようにするということです—— 17 節前半 :

1. わたしたちの心の中にご自身のホームを造るキリストは、無限の、計り知れないキリストです—— 18 節。
2. キリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造るとき、わたしたちは満たされて神の全豊満へと、すなわち、三一の神の団体の表現としてのキリストのからだへと至ります—— 19 節。

3. 真の召会生活は、無限の計り知れないキリストが、個人的にわたしたちの心の中にご自身のホームを造った結果です—— 17 節前半. 4:16。

IV. ピリピ人への手紙の主題は、あらゆる種類の状況の中でキリストを経験することです。

この書は、わたしたちの環境や問題がどうであっても、キリストがわたしたちの経験とならなければならないことを見せています—— 4:11-13 :

- A. わたしたちはキリストを経験するとき、彼をわたしたちの生活 (1:19-21 前半)、表現 (19-26 節. 4:22)、模範 (2:5-11)、常時の救い (12-16 節)、注ぎのささげ物 (17 節)、生かし出された義 (3:9)、目標 (4-14 節)、美德 (4:5-9)、秘訣 (11-12 節)、力 (13 節)、期待とします (3:20-21)。
- B. わたしたちはキリストをわたしたちの目標とするとき、キリストを知る知識の卓越性のゆえに、すべての事を損失であると勘定します (4-11 節)。わたしたちはキリスト、彼の復活の力、彼の苦難の交わりを知ります (10 節)。そしてわたしたちは彼の死に同形化されて、死人の中からの格別な復活に到達します (10-11 節)。
- C. ピリピ人への手紙は、キリストの経験についての書であるだけでなく、キリストを生きることについての書でもあります。クリスチャン生活はキリストを生きる生活であり、キリストのからだを構成し建造するためです—— 1:19-21 前半. エペソ 4:12, 16. コロサイ 1:24. 2:19。

V. コロサイ人への手紙はかしらとしてのキリストをもっぱら述べ、キリストの奥深いこと、すべてを含むこと、無限であることを、聖書における他のどの書よりも完全に啓示しています—— 1:15-19. 2:9 :

- A. コロサイ人への手紙で明らかにされたキリストは、すべてを含み無限に拡張する首位である方、神のエコノミーの中心性と普遍性です—— 1:27. 2:16-17. 3:4, 11。
- B. 神のみこころは、すべてを含む無限に拡張するキリストが、わたしたちの分け前となることです—— 1:9, 12。
- C. すべてを含む無限に拡張するキリストは、栄光の望みとしてわたしたちに内住し、彼はわたしたちの命であり、一人の新しい人の唯一の構成要素です—— 27 節. 3:4, 10-11。
- D. わたしたちは、すべてを含む無限に拡張するキリストにしたがって、あらゆることを見積もり、評価すべきです—— 2:8。
- E. わたしたちは、すべてを含む無限に拡張するキリストが注入され、浸透され、浸潤されて、わたしたちの経験において彼がわたしたちのすべてとなるに至る必要があります—— 1:27. 2:16-17。